Ⅳ　地域保健課の業務概要

地域保健課は、保健師関係指導事業、母子保健事業、成人・老人保健事業、栄養改善事業、精神保健福祉事業、難病対策事業等を担当し、住民に対しより効果的な保健福祉サービスを提供し地域の支援体制を推進するため、各課と協力し、管内の市及び関係機関と連携を図りながら事業を推進した。

1　保健師関係指導事業

保健師は地域保健課・疾病対策課に配属され、公衆衛生対策の窓口として保健活動を行っている。

本事業においては、管内市及び保健所の保健師活動状況の把握と資質向上のために管内保健師業務連絡研修会等を開催した。

（1）管内概況

令和４年４月１日現在の管内保健師就業状況は、保健所 12 人、習志野市 45 人、八千代市 41 人、鎌ケ谷市 31 人の計 129 人である。保健所保健師は、長期療養児の保健指導、結核・感染症対策、難病対策、エイズ対策等専門的な保健サービスを提供するとともに、市の求めに応じて専門的な相談や助言に努めている。

表１－（１）管内保健師就業状況（令和４年４月１日現在）

（単位：人）

区分／年度	総数	保健所	市　町　村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
令和２年度	127	9	78	18	12	10
令和３年度	128	10	78	16	12	12
令和４年度	129	12	79	15	11	12
習志野市	45	－	31	4	5	5
八千代市	41	－	29	5	5	2
鎌ケ谷市	31	－	19	6	1	5

（2）保健所保健師活動

家庭訪問等個別指導状況については表1-（2）のとおり。

保健・医療・福祉等の関係者で連携しながら協議を行い、患者家族がよりよい療養生活を送れるようにするため、個別指導を行った。

表1－（2）家庭訪問等個別指導状況（令和5年3月31日現在）

（単位：件）

区分 / 種別	家庭訪問		訪問以外の保健指導				個別の連携・連絡調整
			面接		電話	メール	
	実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数（再掲：会議）
総数	97	226	80	165	117,734	129	1,778
感染症	40	72	8	9	116,485	10	1,651
結核	31	104	36	108	857	113	121
精神障害	0	0	0	0	0	0	0
長期療養児	6	6	20	21	105	0	3
難病	20	44	16	27	268	6	3
生活習慣病	0	0	0	0	1	0	0
その他の疾病	0	0	0	0	11	0	0
妊産婦	0	0	0	0	0	0	0
低出生体重児	0	0	0	0	0	0	0
（未熟児）	0	0	0	0	0	0	0
乳幼児	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	7	0	0
訪問延世帯数	97	226					

（3）保健師関係研修（研究）会実施状況

ア　管内保健師業務連絡研究会

表1－（3）－ア　管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
令和4年6月24日	第1回習志野保健所管内保健師業務研究連絡会	1. 講演「コロナ禍における地域保健福祉活動の実践」について 2. グループワーク	17人
令和4年11月11日	第2回習志野保健所管内保健師業務研究連絡会	新規採用職員を対象としたグループワーク	7人

イ　所内保健師研究会

表１－（３）－イ　所内保健師研究会実施状況

開 催 年 月 日	主　な　内　容	参加人員
令和４年５月 18 日	1. 現任教育について 2. その他（HIV 検査業務、所内研・管内研開催日について　等）	14 人
令和４年 11 月 22 日	1. 現任教育について 2. その他（次年度の事業計画、現任教育最終評価について　等）	10 人
令和５年３月３日	1. 現任教育について 2. 各課　次年度事業計画について	９人

ウ　保健所保健師ブロック研修会

表１－（３）－ウ　保健所保健師ブロック研修会実施状況

開 催 年 月 日	主　な　内　容	参加人員
	実施なし（当番保健所：習志野保健所）	

（４）管内看護管理者研修会

表１－（４）看護管理者研修状況

開 催 年 月 日	主　な　内　容	参加人員
令和５年２月 22 日	1. 講演「学習者の自立を目指した人材育成」 講師　千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 准教授　西村　宣子氏 2. 意見交換	11 人

２　母子保健事業

母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、管内市および関係機関と連携し切れ目ない支援の推進を行う。

特定不妊治療助成事業においては、助成申請の受理・審査を行い、不妊相談希望者には相談窓口等の相談機関を紹介し個別支援を行った。

（1）母子保健推進協議会

母子保健法に基づき、管内母子に対し、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行うために、実施体制等について協議を行う。

表２－（1）母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
令和５年１月 19 日	19 人	1. 報告 ア　母子保健の現状について イ　医療的ケア児の「災害時個別避難計画」作成について 2. 意見交換 ア　各市における個別避難計画作成における課題について イ　管内における協力体制について

（2）母子保健従事者研修会

管内の母子保健関係従事者に対し、資質の向上と関係機関の相互の連携を図ることを目的とした研修会を開催する。

表２－（2）母子保健従事者研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
現代の母親への理解と関わり方について	令和５年２月 20 日	34 名（対面：4 名、オンライン 30 名）母子保健推進員、母子保健従事者	児童虐待予防の必要性と、支援が必要な親の理解と支援について

（3）母子保健に関する連絡調整会議

母子保健事業に関する情報交換及び課題の抽出を目的に母子保健担当者会議を開催する。

表２－（3）母子保健に関する連絡調整会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主な協議内容
令和４年５月 27 日	9 人・保健師	1. 令和４年度母子保健事業計画について 2. 今後の母子保健事業についての課題 3. 避難行動要支援者の対応について 4. その他

（4）人工妊娠中絶届出

千葉県産婦人科医学会より、管内市の千葉県産婦人科医学会に属する医療機関で行った不妊手術・人工妊娠中絶に関する届け出が提出される。総数は減少傾向である。

表２－（4）人工妊娠中絶届出状況

（単位：人）

区分 ＼ 妊娠週数	令和2年度	令和3年度	令和4年度									
			総数	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳以上	不詳
総数	307	252	217	16	42	47	39	41	30	2	0	0
満7週以前	153	140	108	4	19	27	21	22	13	2	0	0
満8週～満11週	136	99	90	12	19	17	14	15	13	0	0	0
満12週～満15週	7	8	5	0	1	0	3	1	0	0	0	0
満16週～満19週	7	2	8	0	1	2	0	2	3	0	0	0
満20週～満21週	4	3	6	0	2	1	1	1	1	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（5）特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）対象者に千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づく経費の助成を平成17年1月から実施している。令和2年度に国において制度拡充が決定したため、千葉県でも同様に助成制度の拡充を行った。

表２－（5）特定不妊治療費助成実施状況

（単位：件）

年度・市町村	件数		延件数内訳			
	実件数	延件数	体外受精	顕微授精	男性不妊	その他
令和2年度	270	405	73	142	0(1)	190
令和3年度	532	917	134	333	1(1)	449
令和4年度	294	406	48	137	1(1)	220
習志野市	135	192	※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、（ ）内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。			
八千代市	110	155				
鎌ケ谷市	49	59				

（6）小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援にかかる医療費の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等家庭の医療費の負担の軽減を図った。

対象者は 18 歳未満の児童（継続認定者は、20 歳の誕生日前日まで）で、対象疾患は令和 3 年 11 月 1 日より 26 疾患が追加されたことに伴い、16 疾患群 788 疾病である。（悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血液疾患、免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患、染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群、皮膚疾患、骨系統疾患、脈管系疾患）

表２－（6）小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況（各年度 3 月 31 日現在）

（単位：件）

疾患名	令和２年度	令和３年度	令和４年度	習志野市	八千代市	鎌ヶ谷市
総数	454	392	373	140	143	90
1 悪性新生物	69	57	52	12	28	12
2 慢性腎疾患	26	23	22	10	7	5
3 慢性呼吸器疾患	31	20	21	8	6	7
4 慢性心疾患	55	55	51	20	19	12
5 内分泌疾患	87	75	67	30	25	12
6 膠原病	17	13	11	4	5	2
7 糖尿病	40	33	35	6	18	11
8 先天性代謝異常	12	5	5	1	2	2
9 血液疾患	14	15	12	7	3	2
10 免疫疾患	3	0	0	0	0	0
11 神経・筋疾患	45	48	53	25	16	12
12 慢性消化器疾患	34	26	25	10	7	8
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	15	16	13	4	6	3
14 皮膚疾患	1	1	1	0	0	1
15 骨系統疾患	4	4	3	2	0	1
16 脈管系統疾患	1	1	2	1	1	0

（7）小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

児童福祉法第 19 条の 22 に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア　小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表２－（7）－ア　小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名　　称	実施年月日	参加人数・内訳	内　　容
医療的ケア児の災害時対応についての取り組み	令和5年1月25日～2月28日	動画再生回数 82回 アンケート回答 5件	千葉県こども病院における取り組み、医療的ケア児に関すること、「災害時対応あんしんノート」について（Youtube 配信）

イ　療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表２－（7）－イ　療育相談指導内容　　（単位：人）

内　　容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
相談者数（延）	10	15	27
家庭看護指導	5	11	20
食事・栄養指導	5	8	16
歯科保健指導	1	3	6
福祉制度の紹介	6	10	18
精神的支援	7	8	21
学校との連絡	2	4	7
家族会等の紹介	5	7	13
その他	0	0	0

ウ　訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表２－（7）－ウ　訪問指導事業実施状況（疾患別）　　（単位：件）

疾患名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総　　数	1	3	6
慢性呼吸器疾患	1	1	3
神経・筋疾患	0	1	0
染色体又は遺伝に変化を伴う症候群	0	0	1
骨系統疾患	0	0	0
内分泌疾患	0	0	0
先天性代謝異常	0	0	0
その他	0	1	2

エ　窓口相談事業

表２－（7）－エ　相談内容　　(単位：人)

内　　容	令和２年度	令和３年度	令和４年度
相談者数（延）	29	53	24
申請等	16	23	8
医療	4	19	2
家庭看護	9	6	11
福祉制度	0	3	3
就労	0	0	0
就学	0	1	0
食事・栄養	0	1	0
歯科	0	0	0
その他	0	0	0

オ　訪問相談員派遣事業

表２－(7)－オ　訪問相談員派遣事業実施状況

区分／年度	人　数	回　数	実人員	延人員
令和２年度	実施なし			
令和３年度				
令和４年度				

（8）療育の給付制度

児童福祉法第21条の9の規定に基づき、結核に罹患し入院加療が必要な18歳未満の児童に対し医療、学習及び療養生活に必要な物品を給付するものである。令和２年度から令和４年度まで申請はなし。

（9）思春期保健相談事業

思春期の課題を抱えるこどもと、その保護者及び支援者のための相談として、保護者の負担軽減・虐待の早期発見・予防を目的とし、毎月１回相談を行う。

表２－（9）　思春期保健事業個別相談

名　称	開催回数	相談件数	対象者	内　容
思春期相談	6	7	思春期の課題を抱えるこどもとその保護者及び支援者	臨床心理士による面接相談。

（１０）旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等について

平成31年4月24日に「旧優生保護法一時金支給法」が成立し、公布・施行されたことから、請求者の利便性を考慮し、各地域の県型保健所に窓口が設置され、請求に関する相談等を実施した。

表２－（１０）　管内居住者からの相談及び請求受付件数（保健所受付分）

区分／年度	請求受付件数	相談件数（延べ）		
		電話等相談	来所相談	計
令和２年度	1	2	1	3
令和３年度	0	0	0	0
令和４年度	0	1	0	1

※　一時金の支給に関する相談及び請求は健康福祉部児童家庭課でも居住地に関わらず県児童家庭課に受付・相談窓口を開設している。

３　成人・老人保健事業

がん検診の受診率向上のため、がん及びがん検診に関する知識の習得を目的に、市川保健所と隔年でがん検診推進員育成講習会を開催している。令和４年度は市川保健所が担当年であった。

（1）がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

表３－（1）がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
令和5年1月10日 ～1月31日	YouTube配信	子宮頸がんの予防 ー検診とワクチンの重要性ー

4　一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的に健康相談を行った。

（1）健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、保健師等が電話相談に応じている。

表４－（1）健康相談実施状況（電話）

（単位：件）

区分／年度	男	女	総　数
令和２年度	4	17	21
令和３年度	11	25	36
令和４年度	12	10	22

5　総合的な自殺対策推進事業

平成 28 年 4 月自殺対策基本法が改正となり、都道府県及び市町村が自殺対策計画を策定している。管内市での自殺対策事業が円滑に行われるよう、各種相談窓口の周知・案内に努め、関連パンフレットの配架等を行っている。精神保健福祉相談や各関係機関との連携の中で心の健康づくりの推進や普及啓発を行っている。

6　地域・職域連携推進事業

広域的な地域保健と職域保健の連携を図り、地域の実情に応じた協力体制による生涯を通じた継続的な保健サービスの提供・健康管理体制を整備・構築するため習志野・船橋　地域・職域連携推進協議会を平成１９年に設定している。平成２８年度からは船橋圏域に協議会が設置されたため、習志野地域・職域連携推進協議会と名称を変更している。

令和元年度からは、働く人々の高年齢化により転倒災害が多いということから「フレイル予防を意識した生活習慣病予防対策」をテーマに協議している。

表６－（1）習志野地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令５年１月 30 日 （書面開催）	23 人	1.　習志野健康通信の配付について 2.　アンケート調査の実施について

表６－（２）習志野地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開 催 年 月 日	参 加 数	主 な 内 容
令和４年11月10日	５人	テーマ：働き盛りからのフレイル予防～転ばない身体づくり～ 1. 習志野健康通信の作成・配布について 2. 事業所対象アンケート調査の実施について 3. 令和５年度の事業内容について

表６－（３）共同事業開催状況

開 催 年 月 日	主 な 内 容
令和５年１月	1. 習志野健康通信の作成と配布 2. 千葉電子申請システムを使用したアンケート調査

7　栄養改善事業

管内では壮年期の肥満の割合が高く、心疾患、脳血管疾患などの循環器系疾患が医療費や死因の上位である。このため、食に起因する健康課題を改善することを目的に健康教育等を実施し、望ましい食生活の普及定着を図った。

また、健康増進法に基づく給食施設への指導、食品に関する表示や飲食店における栄養成分表示等の指導及び普及啓発を行うなど食環境整備に努めた。

なお、県民健康・栄養調査は令和３年度に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、令和４年度に実施した。

（1）健康増進（栄養・運動等）事業

住民の生活習慣病予防及び健康づくりのために、来所・電話による個別指導の実施及び広報活動により正しい知識の普及・啓発に努めた。

なお、新型コロナ感染症拡大防止の観点から、住民や関係者を対象とした講習会・研修会は少人数での開催とし、リーフレット等による情報提供を併せて行った。

表７－（１）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	(再掲)訪問による栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	9	0	0					0	0	0					0
	20歳未満（妊産婦・乳幼児を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20歳以上（妊産婦を除く）	56	4	0	0	0	0	0	0	751	74	0	0	0	0	0
（再掲）医療機関等へ委託	妊産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	0	0	0					0	0	0					0
	20歳未満（妊産婦・乳幼児を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20歳以上（妊産婦を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ア　病態別個別指導

表７－（１）－ア　病態別個別指導状況　　（単位：人）

区分／種別	計	生活習慣病	難　病	アレルギー疾　患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	78	4	74	0	0	0
病態別運動指導	0	0	0	0	0	0

イ　病態別栄養教室・講座等実施状況

表７－（１）－イ　病態別栄養教室・講座等実施状況

名　称	開催年月日	対象者	参加数	内　　容
難病講演会（動画配信）	令和４年 11月１日～ 令和５年 3月31日	クローン病・潰瘍性大腸炎の指定難病受給者証を有する患者	①（97人） ②（74人）	講演①「潰瘍性大腸炎・クローン病の治療・日常生活での注意事項」 講師　順天堂大学医学部付属浦安病院消化器内科 教授 長田太郎氏 講演②「潰瘍性大腸炎・クローン病の栄養療法・食生活のポイント」 講師　順天堂大学医学部付属浦安病院栄養科 田村直子氏
食物アレルギーを有する子どもの災害対策に関する啓発（チラシ配布）	令和５年 2月１日	食物アレルギーを有する児の保護者	（650人）	NPO法人千葉ｱﾚﾙｷﾞｰﾈｯﾄﾜｰｸ・各市危機管理担当課の協力を得て災害対策に関する啓発チラシを作成し、給食施設を通じて対象者に配布

ウ　地域における健康づくり推進事業

表７－（１）－ウ　地域における健康づくり推進事業実施状況

名　称	開催年月日	対象者	参加数	内　　容
ボランティアセミナー「コロナ禍での健康づくりボランティア活動」	令和４年 10月18日	食生活改善推進員・子ども食堂運営団体代表者・市職員	20人	講演①「Beyond コロナのボランティア活動」 講師　合同会社 J-doc company 代表　影山貴大氏 講演②「コロナに負けない食生活と健康なからだづくり～ナッジを活用した食事バランスの整え方～」 講師　女子栄養大学栄養学部 准教授　林芙美氏

エ　国民（県民）健康・栄養調査

表７－（１）－エ　国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
県民健康・栄養調査	習志野市東習志野地区 2地区28世帯 習志野市奏の杜地区 1地区15世帯	令和4年11月7日～11日 ・身体状況調査 ・栄養摂取状況調査 ・生活習慣調査

オ　特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表７－（１）－オ－（ア）食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発(集団)		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	－
食品表示基準について (保健事項)	栄　養　成　分	8	8	0	0	－
	特定保健用食品	0	0	0	0	－
	栄養機能食品	0	0	0	0	－
	機能性表示食品	0	0	0	0	－
	そ　の　他　※	0	0	0	0	－
健康増進法第65条第1項 (虚偽誇大広告)		0	0	0	0	－
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		0	0	0	0	－

		県民への相談対応・普及啓発			
		相談（個別）	普及啓発(集団)		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		0(0)	0(0)	0(0)	－
食品表示基準について (保健事項)	栄　養　成　分	0	0	0	－
	特定保健用食品	0	0	0	－
	栄養機能食品	0	0	0	－
	機能性表示食品	0	0	0	－
	そ　の　他　※	0	0	0	－
健康増進法第65条第1項 (虚偽誇大広告)		0	0	0	－
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		0	0	0	－

（　）内は、特定保健用食品再掲

※　栄養成分以外の内容だった場合（特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く）

表７－（１）－オ－（イ）食品表示等に関する指導状況（表示違反への対応）

		指導状況（個別）	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について（保健事項）	栄養成分※	0(0)	0(0)
	機能性表示食品	0	0
	その他	0	0
健康増進法第 65 条第１項（虚偽誇大広告）		0	0
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		0	0

※　栄養機能食品、特定保健用食品を含む　　（　）内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表７－（１）－オ－（ウ）特別用途食品に対する検査・指導件数　　（単位：件）

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
0 (0)	0 (0)	0 (0)

（　）内は、特定保健用食品再掲

カ　食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表７－（１）－カ　食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個　別		集団指導		
内　容	延人員	内　容	延回数	延参加者数
食生活に関する指導	69 人	食事バランスの整え方	1	20 人

（２）給食施設指導

管内給食施設 193 施設に対し、栄養管理の質の向上を図るために個別巡回指導を行ったほか、給食施設管理者及び従事者を対象に衛生管理、栄養管理、災害対策に関する情報提供を行い、適切な給食運営を支援した。

表７－（２）給食施設状況　　（単位：件）

施設総数	管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設			栄養士のみいる施設		管理栄養士栄養士どちらもいない施設	管理栄養士必置指定施設		調理師のいる施設		調理師のいない施設	栄養成分表示施設	栄養教育実施施設
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	管理栄養士数	施設数	調理師数			
193	51	69	55	130	108	58	67	29	9	46	166	397	27	188	133

ア　給食施設指導状況

表７－（２）－ア　給食施設指導状況　　（単位：件）

区分			計	特定給食施設		その他の給食施設
				1回300食以上又は1日750食以上	1回100食以上又は1日250食以上	
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	57	5	33	19
		その他指導施設数	30	9	19	2
	喫食者への栄養・運動指導延人員		－	－	－	－
集団指導	給食管理指導	回数	4	4	4	4
		延施設数	284	68	158	58
	喫食者への栄養運動指導	回数	－	－	－	－
		延人員	－	－	－	－

イ　給食施設個別巡回指導

表７－（２）－イ　給食施設個別巡回指導状況

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみいる施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）
合　計		193	57	51	16	55	10	58	21	29	10
指定施設①	計	9		2		7					
	学校										
	病院	9		2		7					
	介護老人保健施設										
	介護医療院										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所										
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他										
300食/回，750食/日以上（指定施設①を除く）②	計	41	5	13		11	1	13	2	4	2
	学校	29	4	13		4	1	9	1	3	2
	病院	3				3					
	介護老人保健施設	1				1					
	介護医療院	1								1	
	老人福祉施設	1				1					
	児童福祉施設	2				1		1			
	社会福祉施設										
	事業所	4	1			1		3	1		
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他										

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみいる施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）
100食/回，250食/日以上（①、②を除く）	計	101	33	28	11	31	7	30	14	12	1
	学校	5	1	1	1			1		3	
	病院	9		3		6					
	介護老人保健施設	5	3	2	2	3	1				
	介護医療院										
	老人福祉施設	20	6	7	1	12	4	1	1		
	児童福祉施設	52	21	14	7	8	1	25	13	5	
	社会福祉施設	2	1	1		1	1				
	事業所	5				1		1		3	
	寄宿舎	1						1			
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他	2	1					1		1	1
その他の給食施設	計	42	19	8	5	6	2	15	5	13	7
	学校	1						1			
	病院										
	介護老人保健施設										
	介護医療院										
	老人福祉施設	8	3	3	1	1	1	3	1	1	
	児童福祉施設	12	5	4	3	3		3	1	2	1
	社会福祉施設	6	3					5	2	1	1
	事業所	3	1							3	1
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他	12	7	1	1	2	1	3	1	6	4

※施設に出向き個別指導した件数を記入する。
※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については，「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。

ウ　給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表７－（２）－ウ　給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導　　（単位：件）

	給食施設開始届	給食施設廃止（休止）届	給食施設変更届
届 出 数	4	8	42
指 導 数	4	9	17

エ　給食施設集団指導

表７－（２）－エ　給食施設集団指導状況

名　　称	開催年月日	対象者	参加者数	内　　容
情報提供 (資料郵送)	令和４年５月９日	給食施設管理者・従事者	(152)	「食品衛生のしおり」「第４次千葉県食育推進計画（概要版）」
給食施設研修会 (動画配信)	令和４年10月27日 ～11月10日	給食施設管理者・従事者	(336)	説明①「食品衛生講習会」習志野健康福祉センター　食品衛生監視員 説明②「習志野保健所管内給食施設における栄養管理について」習志野健康福祉センター　栄養指導員
第２回給食施設研修会	令和５年１月30日	給食施設に勤務する栄養士・保険指導に従事する関係者	18	講演「肥満と新型コロナウイルス感染症について」 講師　東邦大学医療センター佐倉病院　栄養部　室長　鮫田真理子氏
第３回給食施設研修会	令和５年２月14日	高齢者の栄養ケアに従事する管理栄養士・栄養士	31	①講演「食べる楽しみ支援･･･栄養ｹｱ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ20年経て～経口維持から看取り期の栄養ｹｱの取り組み～」 講師　社会福祉法人翠耀会　特別養護老人ホーム　グリーンヒル　木下福子氏 ②情報提供「地域高齢者への栄養・食生活支援～習志野市の事例～」習志野市高齢者支援課 中村紀子氏

（3）健康ちば協力店推進事業

表７－（3）－ア　健康ちば協力店登録状況

令和４年度登録件数			総登録件数
新規登録件数	変更件数	取消件数※	
2	0	0	7

表７－（3）－イ　健康ちば協力店推進事業実施状況

区　分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回　数	延人員	回　数	延店舗数	延人員	回　数	延人員
個別指導		88		1	1		0
集団指導	0	0	0	0	0	0	0
合　　計		88		1	1		0

（4）栄養関係団体等への育成・支援

表７－（4）栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名　　称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
習志野保健所管内調理師会	210 人	調理師の資質向上、調理技術の研究開発、公衆衛生の向上等	新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし	－
習志野保健所管内集団給食協議会	68 施設	集団給食業務の向上、喫食者の健康増進等	総会・役員会の出席、研修会の企画及び運営支援	80 人

（5）市町村への技術・助言支援等

表７－（5）－ア　市町村への技術支援、助言

名　　称	開催月日	対象者	参加者数	内　　容
八千代市学校給食センター運営委員会	令和4年 7月19日	八千代市	（書面）	・令和3年度事業報告について ・令和4年度事業状況について
鎌ケ谷市学校給食センター運営委員会	令和4年 8月9日	鎌ケ谷市	10人	・令和3年度学校給食センターの運営について ・令和3年度学校給食センターPFI事業モニタリングについて ・令和4年度食に関する指導の全体計画について ・令和4年度学校給食センターの運営状況について
	令和5年 2月7日	鎌ケ谷市	8人	・令和4年度学校給食センターの運営について ・令和4年度第1･2･3四半期学校給食センターPFI事業モニタリングについて ・令和4年度食に関する指導の全体計画について
八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会	令和4年 8月22日	八千代市	（書面）	・講演「八千代市第3次まちづくりプラン策定に向けて」 ・第2次健康まちづくりプラン及びいのち支えるまちづくりプランの評価について ・健康まちづくりプラン次期計画について　他
	令和4年 11月24日	八千代市	35人	・八千代市第3次健康まちづくりプラン（案）について ・八千代市第2次いのち支えるまちづくりプラン（案）について ・八千代市第3次健康まちづくりプラン推進・評価体制について ・八千代市第2次いのち支えるまちづくりプラン推進・評価体制について
	令和5年 3月1日	八千代市	37人	・第3次健康まちづくりプラン・第2次いのち支えるまちづくりプランについて ・各プランにおける実績報告

表７－（５）－イ　管内行政栄養士研究会等の開催状況

名　　称	延回数	延参加人員	主な内容
管内行政栄養士業務連絡会	2回	13人	・災害対策について ・コロナ禍の新たな健康課題について 他

（６）調理師試験及び免許関係

表７－（６）調理師試験及び免許取扱状況　　（単位：名）

	調 理 師 試 験			免　許　交　付		
年　　度	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
令和2年度	59	40	67.8	84	18	20
令和3年度	55	40	72.7	100	19	17
令和4年度	47	34	72.3	83	18	11

（７）その他（各保健所の独自事業）

名　　称	延回数	延参加人員	主な内容
管理栄養士養成施設学生実習	2回	7人	保健所における栄養改善業務について 他

８　歯科保健事業

歯・口腔内の健康の維持増進を図るため、管内市と連絡調整を行った。また、難病及び障害者等歯科保健サービス事業を実施した。

（１）難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表８－（１）難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名　称	対象者	開催月日	内容	参加人員
口腔ケア研修会	口腔ケアに従事する関係者	令和4年10月6日	講演「口腔ケアについて」 講師　吉澤歯科医院 院長　吉澤健太郎歯科医師	21人

（２）その他（各保健所の独自事業）

表８－（２）その他（各保健所の独自事業）

名　称	対象者	開催月日	内容	参加人員
実施なし				

９　精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

（1）管内病院からの届出等の状況

管内には習志野市内に１施設、八千代市内に４施設、鎌ケ谷市内に１施設、計６施設の精神科病院（計 1,454 床の精神病床）がある。

表９－（1）　管内病院からの届出等の状況

（単位：件）

種別／年度	医療保護入院者の入院届	応急入院届	医療保護入院者の退院届	措置症状消退届	措置入院者の定期病状報告書	医療保護入院者の定期病状報告書	その他
令和２年度	628	0	637	14	4	509	0
令和３年度	600	0	588	22	5	534	0
令和４年度	636	0	640	26	3	516	0

※　その他は、転院許可申請（０）件、仮退院申請（０）件、再入院届（０　）件の合計

（2）措置入院関係

精神保健福祉法第 22 条から第 26 条に基づいた申請・通報を受理し、措置診察の必要性を判断するための事前調査を保健所で行っている。措置診察が必要と判断された者については、同法第 27 条及び第 29 条の２の規定に基づいて、指定医による診察を行い、措置入院及び緊急措置入院の要否が判断される。措置入院が必要とされた者に対して、同法第 29 条の２の２にて移送を行っている。

表９－（２）－ア　申請･通報･届出及び移送処理状況

（単位：件）

処理 ＼ 申請通報等の別	申請・通報届出件数	診察の必要がないと認めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の移送業務		
			法第29条該当症状の者	その他の入院形態	通院・その他	法第29条の2該当症状の者	その他の入院形態	通院・その他	1次移送	2次移送	3次移送
令和２年度	92(59)	45(31)	42(24)	2(2)	3(2)	8(5)	0	1(0)	0	0	21(13)
令和３年度	116(77)	49(34)	60(39)	0	3(2)	12(8)	0	4(2)	0	0	21(12)
令和４年度	90(50)	35(22)	45(24)	0	2(0)	20(11)	1(1)	6(2)	0	0	14(7)
法9第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	49(28)	4(4)	37(21)	0	1(0)	20(11)	1(1)	6(2)	0	0	14(7)
法第24条 検察官からの通報	15(5)	6(2)	8(3)	0	1(0)	0	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	26(17) ＊注１	25(16)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療機関管理者及び保護観察所長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※１　「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

２　「法第 29 条の２該当症状の者」は、原則として法第 27 条の診察を受けた者の内数

３　1 次・2 次移送は、診察までの移送、3 次は措置決定後の病院までの移送

４　（　）は中核市（船橋市）分の再掲

＊注１　令和４年度内の結果未確定（1 件）

表９－（２）－イ　措置診察を受けた対象者の病名

（単位：件）

病名 / 年度 / 結果	総数	統合失調症等	気分障害	器質性精神障害		中毒性精神障害			神経症性障害等	パーソナリティ障害	知的障害	てんかん	発達障害	その他の精神障害	その他
				認知症	その他	アルコール	覚醒剤	その他							
				F0			F1								
		F2	F3	F00～F03	F04～F09	F10	F15		F4	F6	F7	G40			
令和２年度	47	35	7	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
令和３年度	67	49	6	2	2	1	2	0	1	2	1	0	0	0	1
令和４年度	54	35	9	1	0	1	0	1	1	2	2	0	1	0	1
診察実施 要措置	45	34	7	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0
診察実施 不要措置	9	1	2	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1

※１　緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者　７名

２　緊急措置入院中に措置解除となった者　０名

３　その他には病名不詳を含む。

４　F0～F9、G40 は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表９－（２）－ウ　管内病院における入院期間別措置入院患者数（令和５年３月 31 日現在）

（単位：人）

入院期間 / 年度	総数	６か月未満	６か月以上１年未満	１年以上３年未満	３年以上
令和２年度	6	6	0	0	0
令和３年度	4	4	0	0	0
令和４年度	5	5	0	0	0

表９－（２）－エ　申請・通報・届出関係の相談等

（単位：人）

性・年齢 / 区分	実数	性			年齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	55	33	22	0	2	12	35	6	0	117
電話	90	63	27	0	7	21	52	10	0	1,271

（3）医療保護入院のための移送（法第34条）

精神保健指定医の診察の結果、精神障害者であり、かつ直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障が認められるものの、本人の治療同意が得られない場合、その家族等のうちのいずれかの者の同意があるときは、医療保護入院をさせるために知事の権限で応急入院指定病院に移送することができる。

表９－（３）医療保護入院のための移送処理状況　　単位：件）

区分／年度	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
令和２年度	0	0	0
令和３年度	0	0	0
令和４年度	0	0	0

（4）精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健福祉担当職員による随時の相談（面接及び電話）・訪問とあわせ、精神科医による定例相談を月３回設けている。定例相談の内２回は八千代・鎌ケ谷への出張相談としている。

表９－（４）－ア　精神科医師による定例相談

実施日	時間	場所
偶数月　第１　火曜日 奇数月　第１　月曜日	14：00～16：00	八千代市障害者福祉センター
毎月　第２　火曜日	14：00～16：00	習志野保健所（健康福祉センター）
毎月　第４　木曜日	14：00～16：00	鎌ケ谷市総合福祉保健センター

表９－（４）－イ　対象者の性・年齢　　（単位：人）

性・年齢／区分	実数	性			年齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
令和２年度	150	85	65	0	11	33	77	29	0	390
令和３年度	143	71	71	1	9	29	76	28	1	289
令和４年度	196	107	88	1	13	51	103	26	3	529
習志野市	76	48	28	0	2	19	46	9	0	213
八千代市	71	32	38	1	7	17	33	11	3	194
鎌ケ谷市	29	15	14	0	2	6	19	2	0	90
管外・不明	20	12	8	0	2	9	5	4	0	32
相　談	109	59	49	1	10	32	53	11	3	218
訪　問	87	48	39	0	3	19	50	15	0	311

※１　同一人により相談を３回・訪問を２回した場合、相談実数１、訪問実数１、計２となり、延回数は５回となる。

２　電話相談、通報等に関する対応は計上していない。

表９－（４）－ウ　電話・メール相談延件数

（単位：件）

区分＼性	計	男性	女性	不明
電　話	6,188	3,401	2,772	15
メール	5	3	2	0

表９－（４）－エ　相談の種別（延数）　（単位：件）

区分＼病名		総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談
			診療に関すること	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚醒剤	その他の中毒							
令和２年度		490	243	84	104	24	4	0	0	0	4	5	2	22	0	0
令和３年度		426	189	7	71	68	9	3	0	0	1	11	9	54	2	2
令和４年度		646	313	27	110	94	13	7	2	0	0	30	16	33	0	1
相談	計	218	94	4	32	38	6	0	0	0	0	25	12	6	0	1
	男	127	55	4	19	20	6	0	0	0	0	11	6	5	0	1
	女	90	39	0	12	18	0	0	0	0	0	14	6	1	0	0
	不明	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	計	428	219	23	78	56	7	7	2	0	0	5	4	27	0	0
	男	259	116	13	63	36	7	7	2	0	0	5	2	8	0	0
	女	169	103	10	15	20	0	0	0	0	0	0	2	19	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表９－（４）－オ　援助の内容（延数）　（単位：件）

種別＼年度	総数	医学的指導	受療援助	生活支援 生活指導	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整 方針協議	その他
令和２年度	1,056	50	150	124	63	239	294	136
令和３年度	839	30	170	89	14	211	302	23
令和４年度	1,035	43	99	143	25	286	394	45

（注）援助内容は重複あり

表９－（４）－カ　精神障害者の退院後支援相談対応件数　　（単位：件）

	支援計画対象者			
		本人同意あり	会議開催数	計画に基づく支援者
合　　計	0	0	0	0
習志野市	0	0	0	0
八千代市	0	0	0	0
鎌ケ谷市	0	0	0	0

（５）地域精神保健福祉関係

会議等を通じて、精神障害者の適正な医療の確保や障害福祉サービスの提供について管内市及び関係機関等との連携を図っている。

表９－（５）－ア　会議・講演会等

会議･講演会等の名称	開催日	参加人数(人)	対象者等
精神保健福祉研修会	R4.10.13	16	東葛地域保健所 精神保健福祉担当者
管内精神保健福祉担当者連絡会議	R4.11.1	15	管内市、中核市、中核市保健所 精神保健福祉担当者

表９－（５）－イ　家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内容
		実件数 (件)	延件数 (件)	
－	－	－	－	－

表９－（５）－ウ　組織育成・運営支援　（単位：件）

種　別 区　分	当事者支援	家族会支援	支援者支援	その他
支援延件数	－	3	－	－

（6）心神喪失者等医療観察法関係

平成 17 年 7 月に施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」は、心神喪失または心神耗弱の状態で、重大な他害行為（殺人、放火、強盗、強制性交等、強制わいせつ、傷害）を行った者に対して、適切な医療を提供し社会復帰を促進することを目的とした制度である。保健所は、保護観察所と連携しながら、会議等への参加や訪問など、地域における支援を行っている。

表9－（6）医療観察法に係る会議への参加　　(単位：件)

会議種別	ＣＰＡ会議	ケア会議	その他
参加回数	10	4	0

・平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、保健所（健康福祉センター）においても各種会議への参加等が求められている。

・「その他」は、CPA会議（Care Programme Approachの略）とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

１０　肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成 22 年度から核酸アナログ製剤治療の医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。平成 26 年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。なお、平成 23 年度から開始されたインターフェロン 3 剤併用療法については、プロテアーゼ阻害剤販売中止により令和3年10月に廃止された。

表１０－（１）肝炎治療特別促進事業受給者状況　　（単位：人）

治療 / 年度・市町村	核酸アナログ製剤	インターフェロン	インターフェロンフリー
令和2年度	106	0	36
令和3年度	214	1	27
令和4年度	232	0	36
習志野市	75	0	10
八千代市	111	0	12
鎌ケ谷市	46	0	14

１１　肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B 型・C 型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成 30 年 12 月から助成が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。

また、令和 3 年 4 月から、分子標的薬を用いた化学療法または肝動注化学療法による通院治療の対象化、対象月数は、3 月目以降に変更されている。

表１１－（１）肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況　　（単位：人）

治療 / 年度・市町村	肝がん	重度肝硬変	総数
令和 2 年度	0	0	0
令和 3 年度	0	0	0
令和 4 年度	1	0	1
習志野市	1	0	1
八千代市	0	0	0
鎌ケ谷市	0	0	0

１２　難病対策事業

原因不明であって、治療方法が確立されていないため、長期にわたる療養が必要となり、高額な医療費の負担が必要となる難病に対し、医療費の自己負担分を助成している。対象は、法制化前の 56 疾患（特定疾患）から法制化後に徐々に拡大し、338 疾病（指定難病）となっている。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表１２－（１）特定疾患治療研究費受給者状況　　（単位：件）

疾患名 / 年度・市町村別	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
総　　数	1	1	1	0	0	1
スモン	1	1	1	0	0	1

表１２－（２）指定難病医療費助成制度受給者状況　　（単位：件）

疾患名 ＼ 年度・市町村別		令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
総　数		3,515	3,437	3,482	1,315	1,355	812
1	球脊髄性筋萎縮症	5	5	5	1	4	0
2	筋萎縮性側索硬化症	29	32	30	12	6	12
3	脊髄性筋萎縮症	4	5	5	2	2	1
4	原発性側索硬化症	0	0	0	0	0	0
5	進行性核上性麻痺	49	40	46	15	15	16
6	パーキンソン病	475	472	480	181	186	113
7	大脳皮質基底核変性症	5	9	13	4	5	4
8	ハンチントン病	1	2	3	0	3	0
9	神経有棘赤血球症	0	0	0	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	1	1	0	0	1
11	重症筋無力症	84	84	80	34	28	18
12	先天性筋無力症候群	0	0	0	0	0	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	79	84	84	29	35	20
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	13	13	17	6	5	6
15	封入体筋炎	3	3	3	0	2	1
16	クロウ・深瀬症候群	0	0	0	0	0	0
17	多系統萎縮症	39	41	35	15	9	11
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	80	84	80	24	34	22
19	ライソゾーム病	5	7	6	3	3	0
20	副腎白質ジストロフィー	3	3	3	1	2	0
21	ミトコンドリア病	1	2	2	0	1	1
22	もやもや病	60	54	50	21	25	4
23	プリオン病	4	4	2	1	1	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
24	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	0	0	0	0	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	1	1	1	0	0
27	特発性基底核石灰化症	0	0	0	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス	8	8	9	4	1	4
29	ウルリッヒ病	0	0	0	0	0	0
30	遠位型ミオパチー	1	1	1	1	0	0
31	ベスレムミオパチー	0	0	0	0	0	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	0	0	0	0	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	0	0	0	0	0
34	神経線維腫症	11	12	17	4	9	4
35	天疱瘡	10	10	8	3	3	2
36	表皮水疱症	3	3	4	3	1	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	5	5	7	2	2	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	0	0	0	0
39	中毒性表皮壊死症	0	0	0	0	0	0
40	高安動脈炎	18	18	18	10	1	7
41	巨細胞性動脈炎	16	16	19	10	5	4
42	結節性多発動脈炎	8	7	7	2	4	1
43	顕微鏡的多発血管炎	41	45	46	14	17	15
44	多発血管炎性肉芽腫症	13	10	10	9	1	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20	19	24	11	7	6
46	悪性関節リウマチ	10	9	5	3	0	2
47	バージャー病	6	6	6	0	4	2
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	2	4	1	2	1

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
49	全身性エリテマトーデス	257	253	239	92	96	51
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	79	82	88	29	34	25
51	全身性強皮症	115	110	108	28	48	32
52	混合性結合組織病	34	31	32	9	19	4
53	シェーグレン症候群	33	37	38	12	14	12
54	成人スチル病	13	14	16	7	5	4
55	再発性多発軟骨炎	4	4	5	1	3	1
56	ベーチェット病	46	39	44	21	15	8
57	特発性拡張型心筋症	53	54	49	10	26	13
58	肥大型心筋症	17	15	16	5	7	4
59	拘束型心筋症	0	0	0	0	0	0
60	再生不良性貧血	27	22	25	11	8	6
61	自己免疫性溶血性貧血	6	5	4	1	1	2
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	2	2	1	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	79	70	66	20	30	16
64	血栓性血小板減少性紫斑病	2	1	2	1	1	0
65	原発性免疫不全症候群	11	9	13	8	5	0
66	IgA 腎症	36	40	39	14	11	14
67	多発性嚢胞腎	37	41	45	18	10	17
68	黄色靭帯骨化症	21	13	20	9	8	3
69	後縦靭帯骨化症	106	92	85	31	33	21
70	広範脊柱管狭窄症	10	11	10	3	4	3
71	特発性大腿骨頭壊死症	63	57	54	28	15	11
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	12	12	12	6	4	2
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0	0	0	0	0	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	9	10	11	5	3	3
75	クッシング病	4	5	5	3	1	1
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	22	18	15	6	8	1
78	下垂体前葉機能低下症	57	53	60	20	31	9
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0	0	0	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5	4	4	2	2	0
82	先天性副腎低形成症	1	1	1	0	0	1
83	アジソン病	4	3	3	1	0	2
84	サルコイドーシス	67	60	60	20	29	11
85	特発性間質性肺炎	77	78	70	28	35	7
86	肺動脈性肺高血圧症	15	13	14	7	6	1
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0	0	0	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11	14	17	6	6	5
89	リンパ脈管筋腫症	7	7	7	5	2	0
90	網膜色素変性症	92	83	80	30	25	25
91	バッド・キアリ症候群	0	0	0	0	0	0
92	特発性門脈圧亢進症	2	3	2	1	0	1
93	原発性胆汁性胆管炎	68	60	53	16	25	12
94	原発性硬化性胆管炎	3	2	2	0	1	1
95	自己免疫性肝炎	15	14	16	7	7	2
96	クローン病	176	179	176	75	64	37
97	潰瘍性大腸炎	483	470	474	193	192	89
98	好酸球性消化管疾患	1	1	1	0	1	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0	0	0	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0	0	0	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	0	0	0	0	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0	0	0	0
103	CFC 症候群	0	0	0	0	0	0
104	コステロ症候群	0	0	0	0	0	0
105	チャージ症候群	0	0	0	0	0	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0	0	0	0
107	若年性特発性関節炎	0	0	1	1	0	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0	0	0	0	0	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0	0	0	0
110	ブラウ症候群	0	0	0	0	0	0
111	先天性ミオパチー	2	3	3	2	0	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	8	8	10	5	3	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0	0	0	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0	0	0	0
116	アトピー性脊髄炎	0	0	0	0	0	0
117	脊髄空洞症	3	1	1	0	1	0
118	脊髄髄膜瘤	1	1	1	0	1	0
119	アイザックス症候群	1	1	1	0	1	0
120	遺伝性ジストニア	1	0	1	0	1	0
121	神経フェリチン症	0	0	0	0	0	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	0	0	0	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	0	0	0	0	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	1	1	0	0	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0	0	0	0
126	ペリー症候群	0	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	4	5	7	2	1	4
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	0	1	0	0	1
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	0	0	0	0	0
130	先天性無痛無汗症	0	0	0	0	0	0
131	アレキサンダー病	0	0	0	0	0	0
132	先天性核上性球麻痺	0	0	0	0	0	0
133	メビウス症候群	0	0	0	0	0	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0	0	0	0
136	片側巨脳症	0	0	0	0	0	0
137	限局性皮質異形成	0	0	1	1	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	1	1	0	1	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0	0	0	0
140	ドラベ症候群	0	0	0	0	0	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0	0	0	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	0	0	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0	0	0	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	1	1	1	0	0
145	ウエスト症候群	1	2	2	0	2	0
146	大田原症候群	0	0	0	0	0	0
147	早期ミオクロニー脳症	1	1	1	0	1	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0	0	0	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0	0	0	0
150	環状 20 番染色体症候群	0	0	0	0	0	0
151	ラスムッセン脳炎	0	0	0	0	0	0
152	PCDH19 関連症候群	0	0	0	0	0	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0	0	0	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0	0	0	0
156	レット症候群	0	0	1	0	0	1
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0	0
158	結節性硬化症	4	4	4	1	3	0
159	色素性乾皮症	0	0	0	0	0	0
160	先天性魚鱗癬	0	0	0	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	17	12	15	4	3	8
163	特発性後天性全身性無汗症	3	2	0	0	0	0
164	眼皮膚白皮症	0	0	0	0	0	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	0	0	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	1	0	1	0
167	マルファン症候群	3	2	2	1	0	1
168	エーラス・ダンロス症候群	0	0	0	0	0	0
169	メンケス病	0	0	0	0	0	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	0	0	0	0	0
171	ウィルソン病	3	3	4	1	2	1
172	低ホスファターゼ症	0	0	0	0	0	0
173	VATER 症候群	0	0	0	0	0	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
174	那須・ハコラ病	0	0	0	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0	0	0	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0	0	0	0
180	ATR－X症候群	0	0	0	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0	0	0	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	0	0	0	0	0
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0	0	0	0
188	多脾症候群	0	0	0	0	0	0
189	無脾症候群	1	1	1	0	1	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0	0	0	0
191	ウェルナー症候群	2	2	1	0	1	0
192	コケイン症候群	0	0	0	0	0	0
193	プラダー・ウィリ症候群	1	1	1	0	1	0
194	ソトス症候群	0	0	0	0	0	0
195	ヌーナン症候群	0	0	0	0	0	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0	0	0	0
197	1p36 欠失症候群	0	0	0	0	0	0
198	4p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
199	5p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	1	1	1	1	0	0
201	アンジェルマン症候群	0	0	0	0	0	0
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0	0	0	0
203	22q11.2 欠失症候群	1	1	1	0	0	1
204	エマヌエル症候群	0	0	0	0	0	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0
206	脆弱 X 症候群	0	0	0	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	0	0	0	0	0	0
208	修正大血管転位症	1	1	1	0	0	1
209	完全大血管転位症	2	2	2	2	0	0
210	単心室症	2	2	3	2	0	1
211	左心低形成症候群	1	1	1	0	1	0
212	三尖弁閉鎖症	3	3	2	1	1	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	2	0	0	0	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0
215	ファロー四徴症	4	5	6	3	3	0
216	両大血管右室起始症	0	0	0	0	0	0
217	エプスタイン病	0	0	0	0	0	0
218	アルポート症候群	0	0	0	0	0	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	0	0	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	4	5	5	3	0	2
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	2	3	0	2	1
222	一次性ネフローゼ症候群	30	30	38	18	12	8
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	1	0	0	0	0

疾患名 ＼ 年度・市町村別		令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
224	紫斑病性腎炎	1	3	2	2	0	0
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	0	1	0	1	0
227	オスラー病	3	3	5	1	2	2
228	閉塞性細気管支炎	0	0	0	0	0	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	1	1	0	1	0
230	肺胞低換気症候群	0	0	0	0	0	0
231	α1ーアンチトリプシン欠乏症	0	0	0	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	0	0	0	0	0	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	0	0	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	2	1	1	0	0	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	1	0	0	0	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	0	0	0	0	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	0	0	0	0	0	0
241	高チロシン血症1型	0	0	0	0	0	0
242	高チロシン血症2型	0	0	0	0	0	0
243	高チロシン血症3型	0	0	0	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	0	0	0	0	0	0
245	プロピオン酸血症	0	0	0	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	0	0	0	0	0	0
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	0	0	0	0	0	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
249	グルタル酸血症１型	0	0	0	0	0	0
250	グルタル酸血症２型	0	0	0	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	0	0	0	0	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0	0	0	0
254	ポルフィリン症	0	0	0	0	0	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0	0	0	0
257	肝型糖原病	0	0	1	0	1	0
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
260	シトステロール血症	1	1	1	1	0	0
261	タンジール病	0	0	0	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	1	1	1	0	1	0
263	脳腱黄色腫症	1	1	1	1	0	0
264	無βリポタンパク血症	0	0	0	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0	0	0	0
266	家族性地中海熱	1	1	0	0	0	0
267	高IgD症候群	0	0	0	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	1	1	1	0	0
271	強直性脊椎炎	9	12	8	4	2	2
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0	0	0	0

疾患名	年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
274	骨形成不全症	0	0	0	0	0	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0	0	0	0
276	軟骨無形成症	1	1	1	0	0	1
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	0	0	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形(頚部顔面病変)	0	0	0	0	0	0
279	巨大静脈奇形(頚部口腔咽頭びまん性病変)	0	0	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形(頚部顔面又は四肢病変)	0	0	0	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	1	0	0	0	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	3	3	3	1	1	1
284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0	0	0	0	0	0
285	ファンコニ貧血	0	0	0	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0	0	0	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2	3	4	2	1	1
289	クロンカイト・カナダ症候群	2	2	1	0	1	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1	0	0	0	0	0
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0	0	0	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0	0	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0	0	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	4	4	3	1	1	1
297	アラジール症候群	0	0	0	0	0	0
298	遺伝性膵炎	0	0	0	0	0	0

	疾患名 ＼ 年度・市町村別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
299	嚢胞性線維症	0	0	0	0	0	0
300	IgG4関連疾患	9	10	14	7	2	5
301	黄斑ジストロフィー	0	0	1	0	1	0
302	レーベル遺伝性視神経症	0	0	1	0	1	0
303	アッシャー症候群	0	0	0	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	55	61	80	24	34	22
307	カナバン病	0	0	0	0	0	0
308	進行性白質脳症	0	0	0	0	0	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	0	0	0	0	0
310	先天異常症候群	0	0	0	0	0	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0	0	0	0	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0	0	0	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	0	0	0	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0	0	0	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症	0	0	0	0	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0	0	0	0	0
317	三頭酵素欠損症	0	0	0	0	0	0
318	シトリン欠損症	1	2	2	2	0	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	0	0	0	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	0	1	0	1	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	0	0	0	0	0
322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
323	芳香族Ｌ―アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0	0	0	0	0

疾患名 ＼ 年度・市町村別		令和2年度	令和3年度	令和4年度	習志野市	八千代市	鎌ケ谷市
324	メチルグルタコン酸尿症	0	0	0	0	0	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0	0	0	0	0	0
326	大理石骨病	0	0	0	0	0	0
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1	0	0	0	0	0
328	前眼部形成異常	0	0	0	0	0	0
329	無虹彩症	0	0	0	0	0	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0	0	0	0	0	0
331	特発性多中心性キャッスルマン病	6	7	9	2	4	3
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0	0	0	0	0	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0	0	0	0	0	0
334	脳クレアチン欠乏症候群		0	0	0	0	0
335	ネフロン癆		0	0	0	0	0
336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)		0	0	0	0	0
337	ホモシスチン尿症		0	0	0	0	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症		0	0	0	0	0

（３）先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表１２－（３）先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況　（単位：人）

年度	総数	習志野市	八千代市	鎌ヶ谷市
令和２年度	15	10	5	0
令和３年度	16	10	5	1
令和４年度	19	9	8	2

（４）難病相談事業

ア　在宅療養支援計画策定・評価事業

表１２－(４)－ア　在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況　（単位：人）

区分／年度	支援計画策定実施件数	支援計画評価実施件数	構成員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
令和２年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和３年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和４年度	2	2	0	0	2	1	3	6

イ　訪問相談事業

（ア）訪問相談員派遣事業

表１２－(４)－イ－（ア）訪問相談員派遣事業実施状況

区分／年度	人数	回数	実人員	延人員
令和２年度	0	0	0	0
令和３年度	1	13(電話)	45(電話)	46（電話）
令和４年度	1	3(電話),1(訪問)	11(電話）,1(訪問)	11（電話）,1(訪問)

（イ）訪問相談員育成事業

表１２－(４)－イ－（イ）訪問相談員育成事業実施状況

区分／年度	実施日	主な内容	職種	人数
令和２年度	実施なし			人
令和３年度	実施なし			人
令和４年度	令和４年７月５日	「神経難病患者の摂食嚥下ケア」 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター看護師長　摂食嚥下障害看護認定看護師　斎藤雅史　氏	看護師,保健師,介護支援専門員,管理栄養士,介護士	18 人

ウ　医療相談事業

表１２－（４）－ウ　医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
難病講演会 令和４年 11月１日 ～令和５年 ３月31日	97人	動画配信	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）	講演①「潰瘍性大腸炎・クローン病の治療・日常生活での注意事項」 講師　順天堂大学医学部附属浦安病院消化器内科　教授　長田太郎氏 講演②「潰瘍性大腸炎・クローン病の栄養療法・食生活のポイント」 講師　順天堂大学医学部附属浦安病院栄養科　田村直子氏	６人

エ　訪問指導事業

表１２－（４）－エ　訪問指導事業実施状況(疾患別)　　（単位：件）

疾患名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総数	3	17	44
筋萎縮性側索硬化症	2	9	20
多系統萎縮症	0	2	7
パーキンソン病	0	2	4
進行性核上性麻痺	0	4	0
その他	1	0	13

オ　訪問診療等事業

表１２－（４）－オ　訪問診療等事業実施状況　　（単位：人）

区分／年度	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実人員	延人員		専門医	主治医	看護師	理学療法士等	保健師	その他
			実施なし						

（注）訪問リハビリテーションも含む。

カ　窓口相談事業

表１２－（４）－カ　相談内容　　（単位：人）

内　　容	令和２年度	令和３年度	令和４年度
相談者数（延）	8	20	25
申請等	1	3	5
医療	2	6	8
家庭看護	4	9	8
福祉制度	1	2	4
就労	0	0	0
就学	0	0	0
食事・栄養	0	0	0
歯科	0	0	0
その他	0	0	0

キ　難病対策地域協議会

表１２－(４)－キ　難病対策地域協議会実施状況

実施日	テーマ	構成員（職種）	延人数	内　　容
		実施なし		

１３　受動喫煙対策

健康増進法の改正により、令和元年７月１日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となった。また、令和２年４月１日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、指導によって改善が認められない場合等必要に応じて立入検査を実施した。

表１３－（１）－ア　問合せ・苦情届出状況

区分／年度	件数	内訳				
		第一種施設	第二種施設	喫煙目的施設	旅客運送事業	規制対象外
令和２年度	74	2	68	0	0	4
令和３年度	11	0	11	0	0	0
令和４年度	5	0	5	0	0	0

表１３－（１）－イ　立入検査状況

区分／年度	件数	内訳				
		第一種施設	第二種施設	喫煙目的施設	旅客運送事業	規制対象外
令和２年度	0	0	0	0	0	0
令和３年度	0	0	0	0	0	0
令和４年度	0	0	0	0	0	0

１４　市町村支援

市町村支援として、各種会議に出席し必要な助言等を行った。

（１）市町村への支援状況

表１４－（１）市町村への支援状況

項目／市町村	会議・連絡				技術的支援		
	会議名	回数	職種	主なテーマ	事業名	回数	職種
習志野市	ならしのこどもを守るネットワーク代表者会議	2	医		－	－	－
	個別支援会議	2	精	処遇検討会議			
八千代市	要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	課	要保護児童等に対する支援内容の検討	－	－	－
	要保護児童対策地域協議会実務者会議	3	保				
	要保護児童対策地域協議会進行管理会議	10	保				
	八千代市第2次健康なまちづくりプラン推進・評価委員会	1	課	八千代市第２次健康なまちづくりプランの推進・評価			
	個別支援会議	1	精	処遇検討会議			
鎌ケ谷市	鎌ケ谷市児童虐待対策地域協議会実務者会議	1	課	要保護児童対策等地域協議会における虐待家庭への支援検討等	－	－	－
	鎌ケ谷市児童虐待対策地域協議会実務者会議	4	保				
	鎌ケ谷市自立支援協議会	3	精	地域の障害者等への支援体制等整備に関する協議			

＊職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）